

コロナウイルス感染拡大の影響で、21卒の選考プロセスやスケジュールが混乱

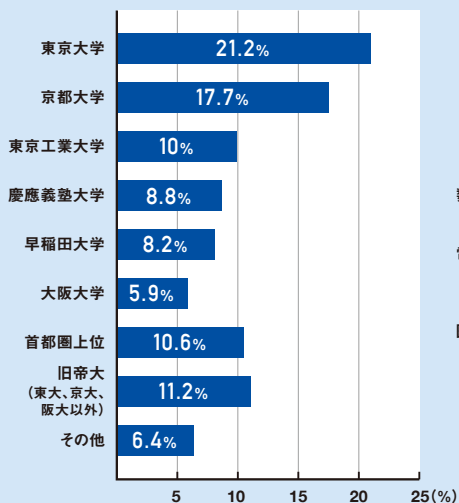
理系ナビ
2021卒会員

就職活動アンケート 集計結果

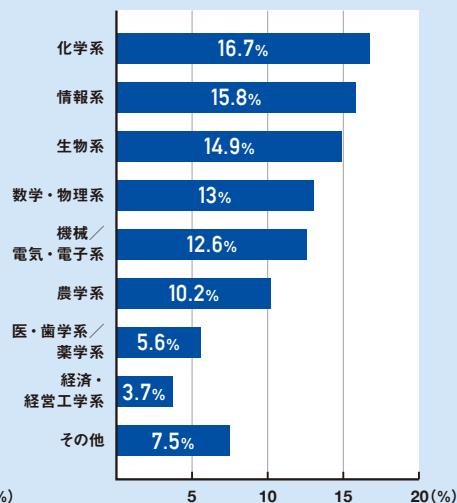
調査対象：理系ナビ 2021会員（2021年卒業予定者）、調査期間：2020年7月～8月、調査方法：インターネット調査
回答数：200名（設問によっては「未回答」など省いている場合があります）

回答者属性

【大学】



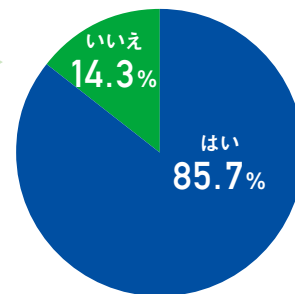
【専攻】



【内定率】 **93.4%** ※2020年7月末時点

Q1 就職活動に新型コロナウイルスの影響はあったか

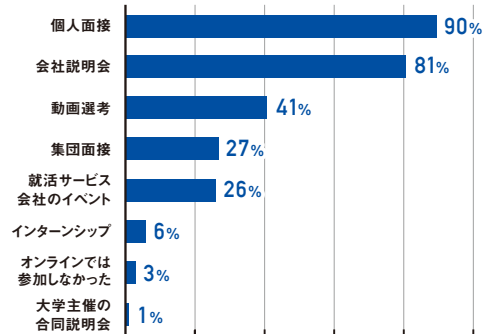
●早期に内定が出ていたので影響はなかった。



●説明会やインターンが中止になった。
●3月以降は面接がすべてオンラインになり、戸惑った。
●選考が延期され、結果的に就活が長引いてしまった。
●リアルな活動がなくなり、人とのつながりが意識できなかった。

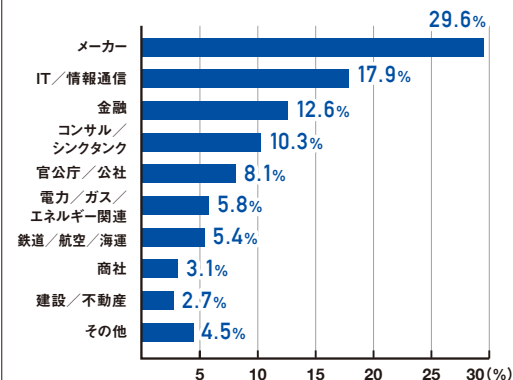
85.7%の理系就活生が「就活に影響が出た」と答える一方で、早期に就活を終えていた14.3%は「影響なし」と回答。

Q2 オンラインで参加したことがある就活プロセス



面接および会社説明会では8割を超える理系就活生がオンライン選考の参加経験あり。

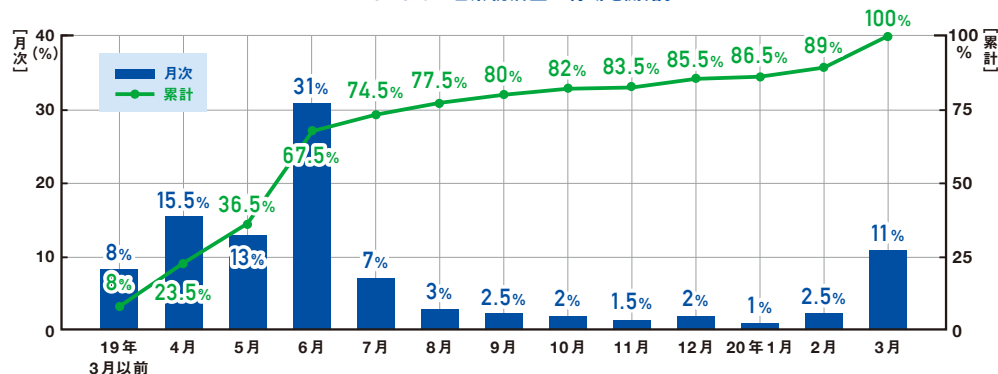
Q3 志望業界



メーカー、ITに続いて金融、コンサル、官公庁などが続く。複数業界を検討・情報収集している理系学生も多い。

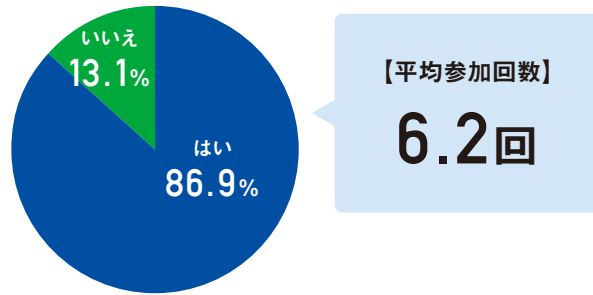
Q4 就職活動の開始時期

21卒向けインターンシップ情報公開が本格化する2019年6月には67.5%の理系就活生が行動を開始。

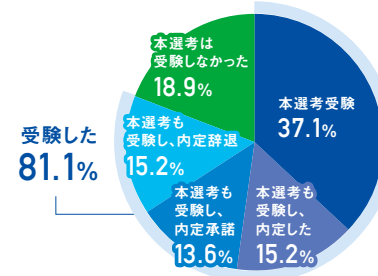


Q5 インターンシップ参加率

理系学生においてもインターンシップへの関心は高まっており、参加率は年々増加傾向（昨対比3%アップ）。

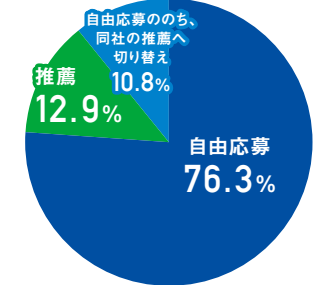


Q8 インターンに参加した企業の新卒採用



インターン参加学生の8割が本選考も受験。転換率が高く、学生との早期接点においてインターンは欠かせない存在に。

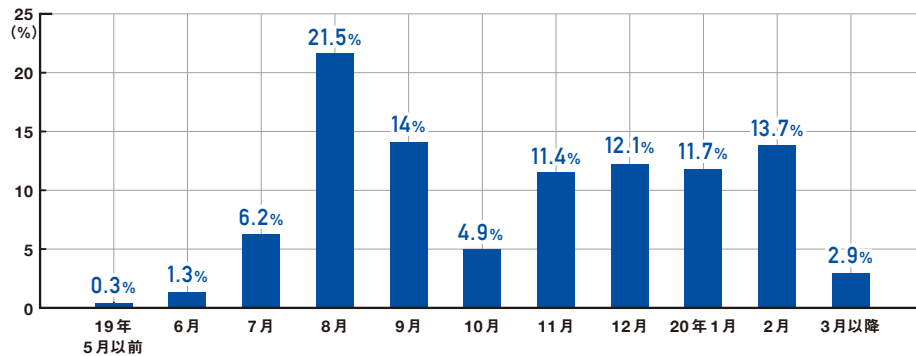
Q9 内定承諾企業の応募方法



理系学生の就職活動でも自由応募が7割以上を占め、後付け推薦を含めると自由応募経由は9割に迫る。

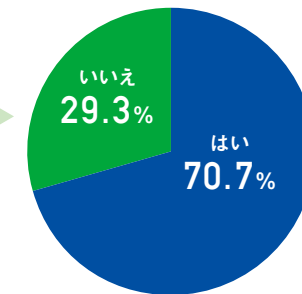
Q6 インターンシップ参加時期（複数回答）

サマーインターンシップへの参加が最も多いものの、近年は秋から冬にかけてのインターンシップに参加する理系学生も少なくない。



Q10 自身の専攻や研究分野を活かせる業界・職種を希望したか

- 自分の本当にやりたいことや将来性を優先したかったから。（機械系）
- あまり研究は向いていないと感じた。（化学系）
- 専門性を活かせる仕事が少なそうだったので。（物理系）

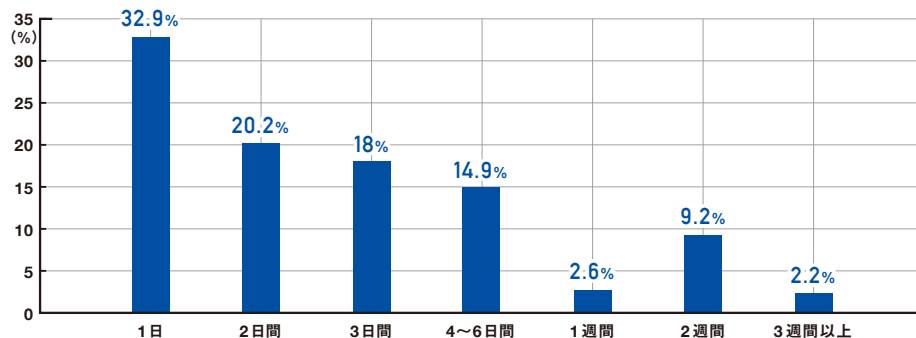


- 自身の研究内容が今後も成長しそうだったので。（化学系）
- 自分の知見を活かせる仕事をしたかった。（機械系）
- 専門性を活かした方が社会に貢献できると考えたので。（情報系）

7割の理系学生が自身の専攻や研究分野を活かせる業界・職種を志望。

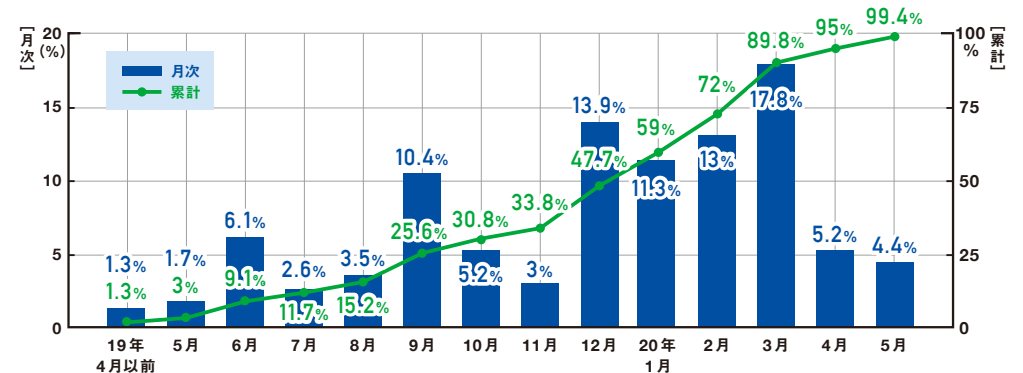
Q7 参加インターンシップの実施期間

実施企業が増加していることもあり、多くの理系がワンデーインターンシップに参加。



Q11 志望業界・職種を絞った時期

インターンシップなどを通じて年末までに約半数の学生が志望業界・職種を絞り込み済。



Q12 業界・業種を絞り込んだ決め手

- 1位 インターン参加 (20.4%)
- 2位 自己分析 (17.4%)
- 3位 企業研究 (16.1%)
- 4位 専攻を活かせる (12.2%)
- 5位 専攻が進むにつれて (10%)

インターンが志望業界・職種の絞り込みで重要な手段になっている。昨年との比較では「OB / OG 訪問、社員との交流」が大きくダウン (3位→7位)。

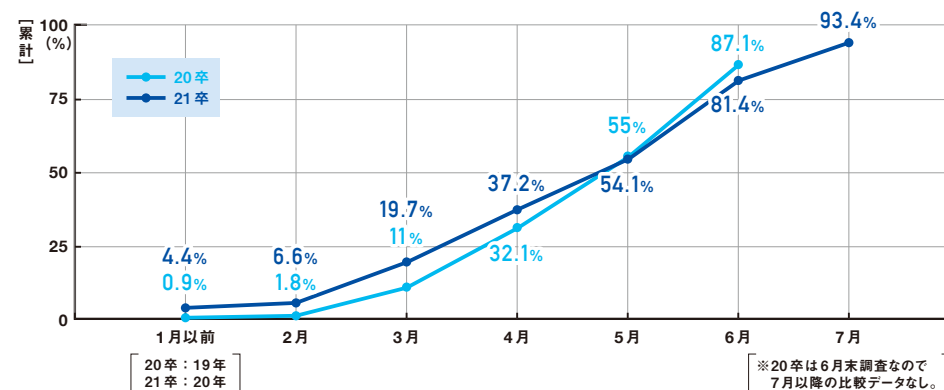
Q13 内定承諾企業を知ったきっかけ

- 1位 大学入学前から知っていた (27.5%)
- 2位 先輩・友人からの情報 (19.4%)
- 3位 業界研究 (17.1%)
- 4位 就職情報サイト (12.4%)
- 5位 大学入学以降に知った(就活以前) (11.3%)

知名度の高いBtoC企業などは有利だが、「就職先」として認知されていないケースもあるため、早期から理系の活躍フィールドとしての認知向上が重要。

Q15 内定承諾時期

3月～4月にかけての内定率は20卒を上回るペースだったものの、コロナの影響で選考が混乱し、6月時点では5.7%ダウンに。



Q14 内定承諾を決めたポイント(複数回答)

- | | |
|--------------------|-------------------------------------|
| 1位 仕事内容 (15.5%) | 6位 会社の成長性 (7.4%) |
| 2位 専攻を活かせる (10.8%) | 7位 企業規模・影響力 (6.6%) |
| 3位 会社の安定性 (9.5%) | 8位 福利厚生・各種手当の充実 (5.8%) |
| 4位 給与／待遇 (9.2%) | 9位 社員の魅力 (5.5%) |
| 5位 勤務地 (9%) | 10位 働き方の柔軟性 (リモートワーク、時短勤務など) (4.7%) |

就活オンライン化の影響で「社風／社員の魅力」などの項目がダウンした一方、「会社の安定性」や「働き方の柔軟性」といった項目がアップ。

Q16 就職活動時の主な情報源

- 1位 就職情報サイト (26%)
- 2位 企業HP (17.8%)
- 3位 友人・知人 (16.4%)
- 4位 大学の先輩 (12.3%)
- 5位 キャリアセンター (7.5%)

主な情報源としては「就職情報サイト」がトップ。その他では「SNS」(6位5.5%)が近年徐々に上昇傾向。

理系ナビの
ご案内

コロナウイルスの影響で混乱が生じた21卒就活生。学生の行動パターンの変化だけでなく、志望企業選びのポイントにも変化が出始めています。22卒では、早期から情報収集に動き出す学生が増加しており、企業側も適切なタイミングで、必要な情報を発信していく重要性がますます高まっています。理系ナビでは早期からの採用プロモーション支援や、スカウトサービスによるダイレクトアプローチなど、理系新卒採用を支援するツールを複数ご用意しています。関心をお持ちのご担当者様はお気軽にご相談ください。

 <https://rikeinavi.com/22/contents/inquiry.html>